



# 教育関係者・事業者部門 消費・安全局長賞 《食品製造・販売者等》

## 琉球新報社

(沖縄県) 活動期間 48年

### 沖縄県内における食育の推進 ～感じる・食べる・育つ～

#### 若い世代を中心とした食育の推進

食生活の急激な欧米化から生ずる生活習慣病の予防、食生活の向上を目的として、料理講習会や子供向け家庭料理セミナー、食育フォーラム等の食育関連事業を実施してきました。昨年度、県内3エリアにおいて若い親子世代を対象に、農林漁業体験、調理体験、流通体験等（26回、964人参加）を実施し、「日本型食生活」の普及と実践、食や農林水産業への理解の増進に向けた食育活動に取り組みました。



フーチャンプルーを作る参加親子

#### 沖縄の豊富な資源を生かした農林漁業

農林漁業体験では、米作りや島野菜の植え付け・収穫、販売までの流通体験、漁業体験では、定置網、クロマグロ養殖場・かつお節工場見学、調理体験では、自ら収穫した米や島野菜を使用するなど、「長寿沖縄」の知恵を継承する食育活動を行っています。なお、これらの食育活動は、地元子供会、地域の婦人会や自治体を巻き込んで実施しています。



定置網を引き揚げる児童ら

#### 豊富な情報資源の活用

県民の食生活の意識向上、食文化の維持を目的として、毎年1回、有識者を招いて食育フォーラム（約300名参加）を行っています。事業展開は新聞社の豊富な情報資源や幅広いネットワークを活用して、広く県民へ発信しています。また、料理講習会は2017年3月までに583回となる長寿事業で、沖縄の伝統料理や栄養バランスのよい食生活を紹介しています。



料理講習会



食育フォーラム

長年取り組んできた食育関連事業が評価され、尽力頂いた関係者へ感謝申し上げます。今後も新聞社ならではの発信力を生かし、県民の食生活の意識向上に貢献して参ります。



琉球新報社 営業局長  
新垣 順基